

令和3年度「ココロねっこフォーラム」実施要項

1. 目的

青少年の健全育成のために、本県の県民運動である大人のあり方を見直し、大人みんなで子どもの心を育てる「ココロねっこ運動」を推進し、より進展させるため、「ココロねっこ運動」に積極的に参画している方々の情報交換の場として標記フォーラムを実施する。

2. テーマ

「子どもが育つ環境をどう改善するか？～子どもの居場所～」

「子どもの居場所」、「心の居場所」という言葉が、教育や青少年健全育成の取り組みの中で使われています。子どもたちが育つ場である、家庭・学校・地域のそれぞれの居場所はどのような状況にあるのでしょうか。また、第三の居場所という言葉も聞かれるようになりました。「子どもの居場所」を切り口に、大人や社会のあり方を考えます。

3. 主催 ココロねっこパレード実行委員会※ 長崎県 長崎県教育委員会

4. 日時 令和3年11月17日(水) 13:30～16:00

5. 場所 長崎県庁3階 302～305会議室

6. 参加者 ココロねっこ運動関係者 社会教育関係者

7. 主な内容

13:30～13:40 開会行事

13:40～13:50 趣旨説明

13:50～14:35 ディスカッション1 「子どもの居場所 家庭・学校・地域」

14:45～15:10 サブセッション (6名程度のグループで参加者同士の意見交換)

15:10～15:40 ディスカッション2 「子どもの育つ環境をどう改善するか？」

15:40～16:00 まとめ・総評・閉会

8. 円卓メンバー

(1) パネリスト

山本 道雄 長崎県PTA連合会 会長

松崎 邦彦 長崎市立横尾小学校 校長

数山 有里 親子いこいの広場もくもく 代表

三谷 亨 松元リカバリークリニック 精神保健福祉士、ソーシャルワーカー

(2) 趣旨説明 宮本 幸成 長崎県青少年育成県民会議 事務局長

(3) 総評 浦川 末子 長崎県更生保護女性連盟 会長

(4) 司会 音瀬由紀子 長崎県こども未来課 指導主事

9. その他

本フォーラムは、例年11月に実施している「ココロねっこパレード」の代替事業として実施します。(※裏面)

10. 問い合わせ先

長崎県青少年育成県民会議(宮本) 住所:長崎市桜町4-1長崎商工会館9階

tel/fax:095-824-7510 e-mail:n-kenminkaigi@room.ocn.ne.jp

※本フォーラムへの参加呼びかけ先

●ココロねっこパレード実行委員会

長崎県青少年育成県民会議 長崎県 長崎県警察本部 長崎保護観察所 長崎市
長崎県保護司会連合会 長崎県少年補導員連絡協議会 長崎市青少年育成連絡協議会
長崎市少年補導委員協議会 長崎市民生委員児童委員協議会 長崎県子ども会育成連合会
日本ボーイスカウト長崎県連盟 ガールスカウト長崎県連盟 長崎県少年合唱団育成会連合会

●これまでにココロねっこパレードに後援をいただいている関係機関・団体

●更生保護関係機関・団体

長崎県更生保護女性連盟
更生保護法人長崎県更生保護協会
更生保護法人長崎啓成会
長崎県BBS連盟

●社会福祉関係機関・団体

長崎県社会福祉協議会
長崎県民生委員児童委員協議会
長崎市社会福祉協議会
長崎県老人クラブ連合会
長崎県地域婦人団体連絡協議会

●行政・教育機関・団体

長崎県教育委員会
長崎県校長会
長崎県高等学校長協会
長崎県私立中学高等学校協会
長崎県PTA連合会
長崎県公立高等学校PTA連合会
長崎県私立中学高等学校PTA連合会
長崎市PTA連合会
長崎県少年補導センター連絡協議会

●企業・団体

長崎県商工会議所連合会
長崎県商工会連合会
長崎県中小企業団体中央会
長崎県玩具煙火協会
長崎県小売酒販組合連合会
日本たばこ産業九州支社長崎支店
浜市観光通商店街振興組合
浜市商店連合会

●防犯関係団体

長崎県防犯協会連合会
長崎地区少年補導員協議会
長崎地区防犯協会
長崎地区少年を守る商店連絡協議会
長崎地区小・中学校警察連絡協議会
大浦地区少年補導員連絡協議会
大浦地区防犯協会連合会
浦上地区少年補導員連絡協議会
浦上地区防犯協会連合会
浦上警察署管内少年を守る母の会連合会

●報道機関

朝日新聞社
長崎新聞社
西日本新聞社
毎日新聞長崎支局
読売新聞西部本社
KTNテレビ長崎
NBC長崎放送
NCC長崎文化放送
NHK長崎放送局
NIB長崎国際テレビ
長崎ケーブルメディア
エフエム長崎

●青少年団体・青少年育成団体

長崎県スポーツ少年団
長崎県子ども劇場連絡会
長崎市学童保育連絡協議会

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です

ほっとできる「居場所」がどこにもない—
そんな子供・若者が増えています。
未来を担う子供・若者たちのために、何ができるか
考え、行動に移してみませんか？

「どこにも居場所がない」とする子供・若者の割合



内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

11月は「ココロねっこ運動強調月間」(主唱 長崎県)です

～大人みんなで、子どもの心を育てよう！～



●令和3年度「ココロねっこフォーラム」のねらい

「子どもが育つ環境をどう改善するか？～子どもの居場所～」

「ココロねっこ運動」は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。

平成13年度に長崎県青少年健全育成・環境浄化キャンペーンとしてスタートし、平成14年度から年間を通した運動として取り組まれ、身近なところでは、あいさつ・声かけ運動など各地域等で継続的に取り組まれています。

このような取り組みを継続的、日常的にすすめると同時に、人々が、子どもたちの育つ場である、家庭・学校・地域社会のあり方にも関心を向け、改善していく機運醸成を図ることも「ココロねっこ運動」の一つです。

このフォーラムでは、「子どもの居場所」という視点で、子どもの育ちの課題を踏まえ、現在の家庭・学校・地域社会のあり方を考えます。

まず、なぜ「子どもの居場所」、「心の居場所」という言葉が、教育や青少年健全育成の取り組みの中で広く使われるようになったのでしょうか。最近では、「第三の居場所」という言葉も聞かれるようになりました。

子どもたちが育つ場である、家庭・学校・地域のそれぞれの居場所はどのような状況にあるのでしょうか。そして、子どもにとって、子どもの立場にたって、家庭・地域・学校はどのような居場所を目指すことが大切なのでしょうか。

このフォーラムでは、家庭・学校・地域のそれぞれの立場からご意見をいただき、大人のあり方、地域社会のあり方を、参加者が改めて考えてみるきっかけとなることを目指します。